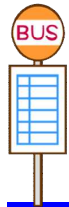


バスに乗って、出かけよう。



# Happy Ride in Shizuoka Project



～小学生バス無料デーの実施～

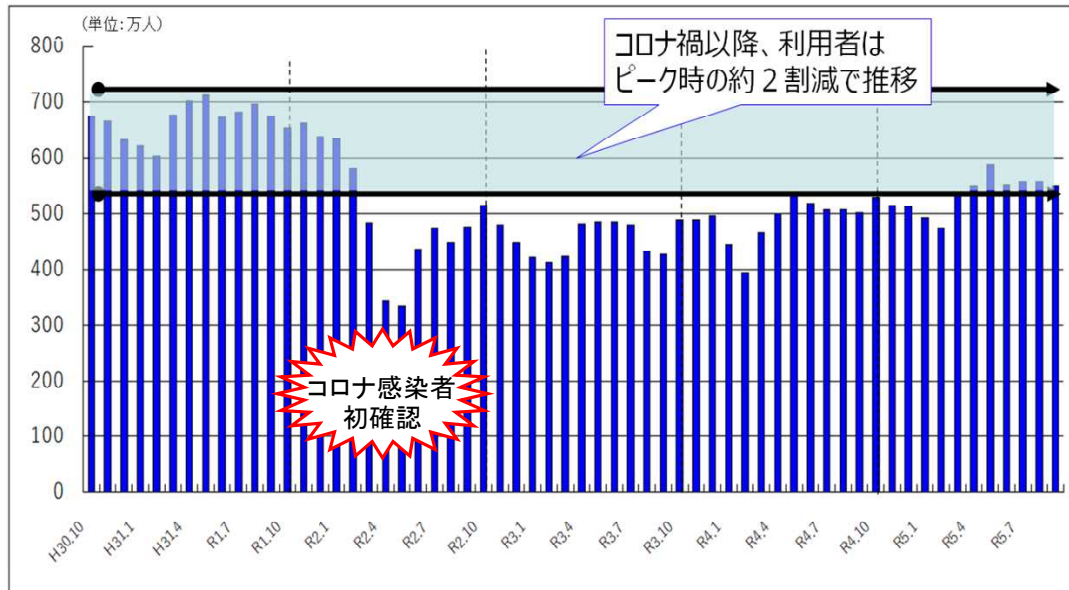
ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会  
(事務局：静岡県バス協会、県地域交通課)



# 背景

✓コロナ禍が拍車をかけた乗合バスの乗車人員の減少

✓運転手のなり手の不足、高齢化による更なる運転手不足への危機感



(一社) 地域公共交通総合研究所がR5.11に全国のバス事業者を対象に実施したアンケート回答者のうち、

全事業に対して、**99%が運転手不足**と回答

運転手不足への対策として**回答事業者の半数が「減便」、約3割が「路線廃止」を計画**

### バス事業者「運転手不足」99%

地域公共交通総合研究所 (地公研、岡山市) が全国のバス事業者を対象に運転手不足に関するアンケートを実施した事業者の99%が「不足」と回答した。多くが対策として減便や路線廃止を検討している。地域交通サービス水準低下や消滅が懸念される実態が鮮明になった。金剛自動車 (大阪府富田林市) は今月、運転手不足と利用者減少を理由にバス事業を廃止している。

調査は11月、全国300のバス事業者を対象に書面で実施。68社から回答を得た。運転士の残業上限を年960時間にするなどの規制が2024年4月から適用されるのを前に、現状を探った。運転手が不足していると考えた7社のうち、不足数は10人未満が最多で46%。30人以上は16%に上った。雇用促進以外を検討している対策(複数回答)を尋ねると、減便が47%、路線廃止が34%だった。路線の計画数は大半が5路線以下だったが、40路線規模の事業者もあったという。残業規制適用を延期すべき

対策	割合
減便	47%
路線廃止	34%
競合会社との運行効率化	13%
その他	43%
無回答	10%

※地域公共交通総合研究所の調査報告書による

### 地公研調査「減便・路線廃止を検討」多数

か問うと、回答した57社のうち、ほぼ半分は「削減」を計画した。ただ、いずれも運転手不足への不安感がうかがえる。地公研は「少なくとも新型コロナウイルス禍で失った期間と同じ年間運転手不足を補うには、他産業より低い待遇の改善が必須だと指摘する。路線再編や車両の小型化などの経営努力を続けながら、①運営の引き上げの国や自治体が車両などを担う民間が運行を担う「公有民営」への転換」といった改革が急務とした。

小嶋光信代表理事 (面談グループ) は記者会見で「交通の崩壊が地域崩壊につながる危険水域に入った。2024年問題で資金がダウンすれば営業継続が難しくなると説明。運転手の待遇改善がサステナブル(持続可能な公共交通維持の前提)になると強調した。

2024.1.5静岡新聞

# 目的

- 小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進
- 地域の足を支える運転従事者に「感謝とリスペクト」する  
気持ちを育み、将来にわたり社会全体で地域公共交通を支える意識を醸成
- 皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減



# 実施概要(案)

## 概要

小学生のバス利用を促進し、バス利用者の増加につなげるため、  
**県内全ての小学生を対象にバス無料デーを実施する。**  
(全県規模の実施としては前例のない取組)

項目	内容
対象者	県内の全小学校 524校 約178,000名 (国公立・私立小学校、特別支援学校含む)
実施予定日	令和6年12月7日(土)～8日(日) 2日間
対象路線	県内乗合バス事業者路線(貸切、観光バスを除く) 市町自主バス路線(実施可能な市町)
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置) 構成員:国、県、市町、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局:静岡県バス協会、県地域交通課
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター

# 【参考】費用と経済効果

※2023年11月にしずてつジャストラインが静岡市で実施したフリー乗車券の発行・配布した実績をもとに記載

項目	内容	詳細
費用	1,069,020円	(内訳) ・乗車券印刷代 537,600円 ・チラシ印刷代 (郵送料含む) 466,000円 ・乗車券郵送代 65,420円
効果	1,236,552円	フリー乗車券利用者の同伴者 (大人) 利用者数 ×定期外平均単価201円×往復として算出

## 静岡市内

学校数

95校

児童数

31,751名



# 実施概要(スケジュール)

月日	内容
4月24日	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会の設立
5月中旬～	各学校に小学生バス無料デーの実施通知、校長会等での説明（県）
5月下旬～	市町地域交通会議等での説明（県）、運賃協議会での承認（市町）
6月～	実施路線の特定、特設サイトの開設、沿線の公的施設等への協力依頼
10～11月	各学校経由で小学生に無料デー啓発チラシ（兼フリーチケット）を発送 各種広報、啓発イベント等の実施、プレスリリース（11月中旬頃を予定）
12月7～8日	小学生バス無料デーの実施
～1月下旬	利用者アンケート等のとりまとめ（効果検証）





バスにのって、でかけよう。



# 小学生バス 無料デー

小学生は  
無料「0円」で  
何回でものれ  
よ！

Happy Ride in Shizuoka Project



**実施予定日 令和6年12月7日(土)～8日(日)**

- ・期間中、静岡県内の小学生は無料で何度でも乗車できます。
- ・無料乗車エリアは、静岡県全域です。
- ・対象路線は特設サイトに掲載していきます（特設サイトは6月以降OPEN予定）
- ・各家庭にお知らせするリーフレットは、11月中旬頃に各学校にお送りします。



## 実施の目的

- ・小学生のバス利用を促進し、バス利用者数の向上を目指します。
- ・地域の足を支えるバスドライバーに「感謝とリスペクト」する気持ちを育むことで、地域公共交通を支える意識を醸成します。
- ・皆でバスに乗り合うことにより、CO2の削減を目指します。



山間地などまちから離れた場所に  
住む人々の移動手段を守ります。



お年寄りや体が不自由な人の移動  
手段を守ります。



バスは環境にもやさしい  
乗り物です。

(CO2の排出量は自家用車の半分以下)

バスに乗ると、  
こんなに  
「**いいコト**」が  
あるよ！

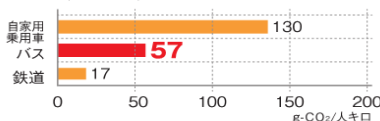


雨の日に道が混むのを和ら  
げたり交通事故を減らす効  
果があります。



地域の人と乗り合うことで  
コミュニケーションが  
生まれます。（運転手さんに  
感謝の気持ちを伝えることも  
大切です。）

【図E】輸送量当たりの二酸化炭素排出量(旅客)  
(令和元年度)



国土交通省HP「環境運輸部門における二酸化炭素排出量」

主催 ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会

(国土交通省中部運輸局静岡運輸支局、静岡県、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者、市町)

(問い合わせ) 静岡県交通基盤部地域交通課 054-221-3186